

<教室活動の展開例>

- ◆教室の目的： 地域社会への参加 ◆指導者： 地域在住の日本語教育経験者
- ◆教室の場所： 地域の公民館 ◆日時： 日曜日 13:00～15:00
- ◇学習者： 日本語学習歴(なし、読書はできない、同教室に5回目の出席)
- ◇学習内容：

I 健康・安全に暮らす 02 安全を守る (05) 災害に備え、対応する(地震)

教室活動の内容	サポート情報等
<p>1. 地震関連語彙を知り、地震について話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真を見て、地震に関する言葉・表現を知る Eg. これは何の写真ですか。(地震、避難場所、震度等) ○地震について話す Eg. インドネシアではよく地震がありますか。 3.11は震度6でした。 <p>2. 地震発生時にとる行動を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵を見て、地震発生時にとる行動として適当なものを選ぶ Eg. 地震の時、どうしますか。どれが正しいですか。 ○多言語災害時マニュアルで、確認する ○地震が来たと仮定して、シミュレーションを行う Eg. 「地震だ!!」 <p>3. 避難場所を確認する</p> <p>会話例</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>学習者： すみません。この近くの避難所はどこですか。</p> <p>隣人： ○○小学校ですよ。</p> <p>学習者： ありがとうございました。</p> </div> <p>4. 防災メモに記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多言語災害時マニュアルの防災メモの「自分のこと」「家族のこと」について記入する ○多言語災害時マニュアルの防災メモにある電話番号を隣人に聞いて(調べて)、記入する。 Eg. ○○小学校の電話番号は何番ですか。 どうやって調べますか。 	<p>・実物、写真などを使って質問する</p> <p>・語彙対訳表</p> <p><教室活動の方法> フォトランゲージ</p> <p>・絵: p.57</p> <p>・多言語災害時マニュアル</p> <p><教室活動の方法> ・シミュレーション</p> <p>・避難所一覧</p> <p><教室活動の方法> ・ロールプレイ/実体験</p> <p>・多言語災害時マニュアル</p> <p><教室活動の方法> 実体験(指導者と一緒に) →折りたたんで持つ</p>